

シリーズ6

内閣総理大臣を覚えよう！（８）

前熊本県知事の**細川護熙**（熊本細川家当主、近衛文麿元首相の外孫です）が「自由社会連合」結成を宣言し、「おごる平氏（自民党）は久しからず」などと述べて国民の期待を受け、のちに**日本新党**を結成しました。

1993年7月の衆議院選で自民党宮沢内閣は過半数を割り込み、総辞職に追い込まれました。いわゆる「**55年体制**」の終焉です。**1955年から1993年までの38年間続いた「55年体制」に終止符が打たれました。**

その結果、**非自民・非共産の8党派連立政権である細川護熙内閣が成立**しました。しかし、国民の期待を受けた細川内閣も佐川急便グループからの1億円借入疑惑の中で総辞職してしまいます。あとをついだ**羽田孜内閣**も社会党が離脱した結果、わずか64日で総辞職をしてしまいました。

この後、政局は一挙に流動化します。おりしも、1989年の東西の冷戦終結により諸政党は独自の政策を掲げることができず、諸政党の離合集散、連立政権が続くことになります。

55年体制崩壊後の内閣

「細い羽村は～ 小淵モリモリ 小泉3つで アファハカノア～」

第79代→（1）、1993. 8～、日本新党（非自民・非共産の8党派連立）

94年：政治改革関連法案が成立（小選挙区比例代表並立制）

第80代→（2）、1994. 4～、新生党（連立から社会党が離脱）

94年：児童の権利条約を批准

第81代→（3）、1994. 6～、日本社会党（自民党・さきがけと連立）

94年：羽田内閣の不信任案可決・退陣により成立 → 自民党が政権に復活

95年：阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件、戦後50年決議

沖縄県で米兵による少女暴行事件

第82代→（4）（第1次）1996. 1～、自由民主党（第17代総裁）

※社会民主党（社会党から変更）・さきがけとの連立を継続

第83代→(5)(第2次)1996. 11～、自由民主党(第17代総裁) ※自民単独
 96年：ペルー日本公使事件がおこる(翌年解決)
 97年：消費税を5%に、アイヌ文化振興法公布
 98年：参院選挙で敗北し総辞職

第84代→(6)、1998. 7～、自由民主党(第18代総裁)
 ※自由党・公明党と連立(末期に自由党が連立を離脱)
 99年：国旗・国歌法、通信傍受法
 00年：首相の病気により退陣(首相は翌月に死去)

第85代→(7)(第1次)2000. 4～、自由民主党(第19代総裁) ※公明・保守党と連立

第86代→(8)(第2次)2000. 7～、自由民主党(第19代総裁) ※公明党・保守党と連立
 00年：沖縄サミット開催
 01年：中央省庁の再編(1府22省庁から1府12省庁へ)

第87代→(9)(第1次)2001. 4～、自由民主党(第20代総裁) ※公明党と連立
 01年：アメリカで同時多発テロ、テロ対策特別措置法
 02年：日朝平壤宣言
 03年：イラク戦争

第88代→(10)(第2次)2003. 11～、自由民主党(第20代総裁) ※公明党と連立
 04年：有事関連7法

第89代→(11)(第3次)2005. 9～、自由民主党(第20代総裁) ※公明党と連立
 05年：衆院選で大勝、郵政民営化法成立、後継に安倍晋三を指名して総辞職

第90代→(12)、2006. 9～、自由民主党(第21代総裁) ※公明党と連立
 06年：改正教育基本法の成立
 07年：防衛省発足、年金問題が表面化、参院選で大敗し「体調悪化」により総辞職

第91代→(13)、2007. 9～、自由民主党(第22代総裁) ※公明党と連立
 07年：日本郵政株式会社が発足、防衛庁・山田洋行問題が表面化
 08年：参議院で野党多数のため、政権運営が困難、総辞職

第92代→(14)、2008. 9～、自由民主党(第23代総裁) ※公明党と連立
 09年：裁判員裁判スタート、衆議院解散・総選挙で大敗し、総辞職

第93代→(15)、2009. 9～、民主党(社会民主党、国民新党と連立)
 10年：普天間飛行場移設問題(名護市辺野古に移設)と社民党の連立離脱で総辞職

第94代→(16)、2010. 6～、民主党(国民新党と連立)
 11年3月：東日本大震災が発生、原発事故。震災対応への目途を期に総辞職

第95代→(17)、2011. 9～、民主党(国民新党と連立)
 12年8月：消費税関連法成立
 12月：衆議院解散・総選挙で大敗し、総辞職

第96代→(18)(第2次)、2012. 12～、自由民主党(第25代総裁)(公明党と連立)
 13年12月：特定秘密保護法成立
 14年 4月：消費税8%に引き上げ

第97代→(19)(第3次)、2014. 12～、自由民主党(公明党と連立)

(1) 細川護熙	(2) 羽田孜	(3) 村山富市
(4) 橋本龍太郎	(5) 橋本龍太郎	(6) 小渕恵三
(7) 森喜朗	(8) 森喜朗	(9) 小泉純一郎
(10) 小泉純一郎	(11) 小泉純一郎	(12) 安倍晋三
(13) 福田康夫	(14) 麻生太郎	(15) 鳩山由紀夫
(16) 菅直人	(17) 野田佳彦	(18) 安倍晋三
(19) 安倍晋三		

※このシリーズは浜島書店の『新詳日本史』を参考にさせていただきました。